

## 妄想でまちづくり?協働サポーター会議をしました

9月19日、若い人たちの柔軟な想いを市民協働活動に反映するため「協働サポーター会議」を開催しました。第一回目として今回は、郡上発の合意形成モデルである“MOSO 塾”を開催することになりました。MOSO 塾は、NPO 法人ななしんぼが「妄想でいいから夢を描こう」というコンセプトのもとで開発した、ゲーム感覚で楽しめるアイデア出しワークショップです。

リラックスした場が大切なためまずは飲み始めます。アルコールが飲める人はもちろん、アルコールが飲めない人も飲み物片手に、わいわいガヤガヤ始めるのがルールです。



MOSO 塾のルールを説明する小林理事



### 今回のお題は「2024年、夢が持てる田舎全国第1位になる!?!」



10年後、郡上市制20周年に向け「郡上に住むと夢が持てる、かなえられる」わくわくする郡上を実現するために何が必要だろうか?参加者は5つのテーブルに分かれてアイデア出しをスタートしました。

このゲームに大切なことは、2つのNGワード「誰がやるんよ」「それは無理」を言わないこと。常識や現実という既成概念や、時には法律も取っ払って!!頭をフル回転させて「こんなこと出来たら楽しいのに」という妄想を膨らませることが大切なのです。90分間に4回もメンバーチェンジをして、最後には20以上の推奨アイデアが提案され、参加者自身が一番楽しそうなアイデアに投票しました。

今回の最優秀賞は、4票獲得した「郡上市十七条の憲法」という提案です。

市民としてあるべき規範を示す郡上精神を理念化し、憲法で定めるというものです。

その具体的憲章案としては「一つ、川を神としてみよう。一つ、山を神の家と考えること。

一つ、畑を持つこと。一つ、田んぼを耕すこと。一つ、軽トラは無税とすること・・・など」

こんな憲法を持つ市があったら、HAPPYな未来はすぐそこまで来ているかも!!

そのほかにもたくさんの面白いアイデアが提案されましたが、ここでは書ききれません。詳細は市民協働センターホームページで見てください→ <http://www.gujo-siminkyodo.org/>